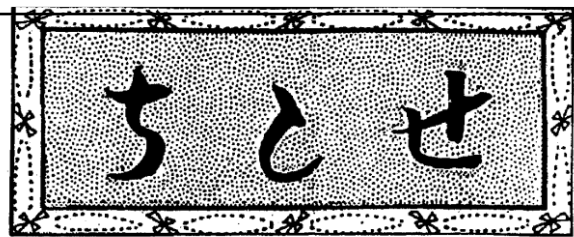


発行・編集 ミニコミ紙「ちとせ」編集委員会
 編集長 松園 伸子
 事務局 船橋まちづくりセンター
 電話 03-3482-0341
 2024 No.128



まちの目が
安全・安心を守っています

船橋地区町会・自治会連合会
 船橋地区身近なまちづくり協議会
 青少年船橋地区委員会/成城署署長/成城特別児童



▲ミニコミ紙は世田谷区のホームページからもご覧いただけます。二次元コードまたは、区HP内、[ミニコミ 船橋](#)で検索(本企画は令和5年度世田谷区地域の絆連携活性化事業の助成を受けています。)



「多世代が交流する 笑顔あふれるまちへ」

「ミニコミ紙」ちとせ「40周年記念座談会

令和5年12月16日(土) 主催 ミニコミ紙「ちとせ」編集委員会

船橋・千歳台の戦後の歴史を語る 大川(烏山川)のほとりに生まれた発展の源

「ミニコミ紙」ちとせ「は、令和4年に40周年を迎え、戦後のこの地の成り立ちを振り返る座談会を船橋まちづくりセンターで開催しました。皆様のご協力に感謝いたします。

パネリスト紹介(開催時)

鈴木照枝 様

(昭和18年生まれ80歳)船橋3丁目在住。13代目。12代目が農業の傍ら燃料店「鈴木明商店」を営む。日赤奉仕団船橋分団長

野島浩一 様

(昭和21年生まれ77歳)千歳台5丁目在住。16代目。野島家は廻澤(めぐりさわ)・今の千歳台の元名主。東京土地区画整理推進協会代表理事

亀井重幸 様

(昭和24年生まれ74歳)船橋5丁目在住。江戸時代から続く農家。船橋神明神社責任総代

西川立一 様

(昭和26年生まれ72歳)船橋3丁目在住。祖父の代に本郷から船橋に転入。流通ジャーナリスト

司会

岡崎宏・花形和昌(「ミニコミ」編集委員)

富士山が見えるまちの秘密基地

司会…子どもの頃についてお話しください。

鈴木…見渡す限りほとんど田畑でした。森繁邸(注:森繁久彌は昭和の名優の辺りは雑木林。その中に弁天様の社と湧き水があり、畑仕事をする親にお茶と「たらし焼き」を持って行きました。小麦粉を練ってお砂糖をちよっと入れて作るお好み焼きのようなおやつでした。子どもの頃はお盆のお迎えはわらで松明を作り、船橋観音堂で火を焚いて持ち帰り、盆棚の火をつけました。送り火の時は、うちから松明に火をつけて観音堂まで送って行ったものです。お盆などは三食精進料理でした。

西川…家の前はキャベツ畑で、モンシロチョウが飛んでいました。池田児童遊園の辺りはたんぼで、家の2階から富士山が見えました。大川のあたりは一面の原っぱで、つるつる滑る丸太橋(水道管)を渡ったり、千歳丘高校の校庭に入って三角ベース野球をして遊びました。同級生と秘密基地を作ったり、缶けりをしたり、ご用聞きのおト三輪の後ろにぶら下がったりと自由に遊びほっていました。



▲思い出を語るパネリストの皆様
左から鈴木さん、野島さん、亀井さん、西川さん。地域の方、職員など50名もの参加者が熱心に聴き入りました。

野島…千歳台と言えばガスタンクです。昭和28年に着工し、31年に2基、4基、6基と増え、その後2基を壊して新しく1基を作って、現在は5基になっています。廻澤の大川は、芦花小学校の辺りから環八へ出て、明大グラウンドの前を通って希望丘公園へ流れていました。烏山から粕谷区民センターの前を通り芦花恒春園のところに「水無川」と呼びました。粕谷区民センターの近くに水深の深い所があり、夏場は裸で泳ぎましたね。昭和50年の地図では水無川の橋が記載されていますが、昭和60年の航空写真で見ると全ての橋が無くなったことが分かります。この間に暗渠になったのですね。当時の遊びはコマ回しや凧揚げ。ペーゴマは賭博性があるので、学校で禁止になりました。

鈴木…私は絵本を見たり、おはじきや塗り絵などで遊んでいました。私はお人形さんなんて買ってもらった覚えがないのですよ。



▲大川が流れる船橋・廻澤の田園風景
ガスタンクと千歳清掃工場の煙突が見えます。昭和36年撮影。(世田谷 Web 写真館から借用。編集委員会が AI アプリによりカラー化。)

大川に飛び込んでザリガニ獲り

司会…廻澤の名産はどんなものですか？

野島…大正時代は「廻澤スイカ」というのが有名でした。それと孟宗竹。新宿の淀橋市場にたけのこを持って行くと高く売れました。竹の根切りは、ものすごい重労働でした。竹といえば、都営住宅(注:船橋四丁目住宅・当時は平屋建て)から通っている子どもたちの通学は大変でした。竹が生い茂る廻澤稲荷神社の脇の道を通っていたのですが、午後3時くらいになると薄暗くなり蛇もいるのでみんな怖がって、走って帰って行ったものです。

司会 大川の思い出は？

野島…私はスルメではなくてカエルをエサにして、それを糸で巻いてザリガニを釣っていました。バケツいっぱい持って帰り、母に天ぷらしてもらいました。エビと同じですからおいしかったです。その後は生活排水が入ってきて、ザリガニがいっぱいいてスルメで釣っていました。

鈴木…女の子もやりましたよ。ちっちゃいカエルの脚をピュッと取ってザリガニを釣りました。西経堂団地ができる頃に台風が来て、工事の資材が川に流れ、石仏公園辺りを塞いでしまったために大川の水が鷗友学園辺りまで溢れたことがありました。小田急線沿いの小田急の分譲地が浸水したときには、森繁さんが自家用の船を出して、避難のお手伝いをしたと聞きました。

野島…かつて千歳通りは品川用水という川でした。一部は天井川と言って地面より川が高くなっていました。昭和25・26年にかけて埋められて暗渠になり、千歳通りになりました。

亀井…西経堂団地に、風見章子さんという女優さんが住んでいました。文部省推薦映画「大いなる旅路」に三國連太郎の奥さん役で出ていた方です。その風見さんの息子と仲良くなりました。経堂小学校では夏休みに校庭で映画会があり、風見章子出演の映画が上映されたことがあります。「あのきれいな人が彼のお母さん」とざわついたことがありました。

私の世代は戦後のベビーブーム。緑丘中学校は、経堂・上北沢・松原・赤堤の4つの小学校の子どもたちが集まるので、1年生の時は1学年9クラスでした。

西川…私が経堂小学校2年生の時に塚戸小学校の分校として船橋小学校ができ、転校しました。鉄筋3階建ての立派な校舎で、上級生は4年生まで、新しい学校を作るのだという意欲に燃えていました。黒井先生という演劇に造詣の深い方がいて、運動会でページェント(注:野外劇)をした記憶があります。楽しい思い出です。家で飼っていた犬がキャベツ畑で肥溜めに落ち、母が洗ったのですが1週間ほど臭かったことを覚えています。友だちが廻澤で牧場の牛の肥溜めにはまったこともありました。



▲大川(烏山川)と船橋・千歳台マップ

船橋は映画のまち

司会：森繁邸の隣に東京映画撮影所ができました。

西川：小学校の頃に撮影所ができ、出入り自由だったのでよく遊びに行きました。森繁さんの社長シリーズはこの撮影所で撮ったそうです。私は「少年ジェット」のロケの記憶が鮮明です。近所には、清川虹子、植木等と言った芸能人が多く住んでいたようです。

亀井：少年ジェットが乗るバイクが撮影所の入り口に飾ってあったのですが、塗装が剥けていました。白黒映画ではスマートなバイクに見えたのですが(笑)

鈴木：ご近所のお宅で撮影させてもらっているのを見かけることもありました。俳優さんが駅前千歳館(注・千歳船橋駅前郵便局の場所にあつた旅館)に寝泊まりしていました。駅前と言えは、小さな商店が多かったですね。一軒一軒がひとつの商品を一生懸命売っていて、そこへ買い物に行くのがお母さんたちの毎日の仕事でした。

西川：駅前の果物屋さんの前に柳がありました。お店は駅近くに少しあつて、あとは私の家の近くに千歳酒店、林菓子店、小若雑貨店、深津畳屋、西村ふとん店、貸本屋、スエヒロ和菓子店、少し離れて船橋ストアがありました。納豆売りや金魚屋も来ていました。

船橋と廻澤はお隣子でも助け合った

亀井：船橋神明神社のお祭りに半纏を着て化粧をし、お稚児さん姿の写真が残っています。中高生になると夜遅くまで遊べるのが楽しかったですね。今は船橋神明神社の責任総代をしていますが、お祭りは地元の方々が盛り上げてくれてこそ、と実感しています。

鈴木：船橋神明神社のお祭りでは、舞台を作ってお祝いの絵を飾り、村芝居がありました。芝居の一座が巡業で回って来ることもありました。

司会：船橋神明神社と廻澤稻荷神社は近い関係にあつたと聞いています。亀井さん、お隣子の経緯をお話してください。

亀井：お隣子に関しては、船橋流と目黒流という二つの流派があります。船橋から大國魂神社までの甲州街道の左が船橋流、右が目黒流です。府中市内にある神社に「船橋隣子」と書かれた提灯があることから分かります。船橋神明神社の船橋隣子が途絶えたことがあつて、その時すでに受け継いでいた廻澤隣子の方に教え返してもらい一緒に練習を重ねて復興したという話があります。

司会：昔から、こうした交流があつたんですね。

あこがれだつた団地暮らし

司会：西経堂団地、希望ヶ丘団地ができた頃は？

野島：西経堂団地に友だちがいましたので、よく遊びに行きました。当時は、4階建ての「大きなビル」という印象で「文化的なハイカラさんが住んでいる」と思いました。トイレが座椅子型で水洗、あこがれでした。うちは汲み取り式でしたから。

船橋地区の行事予定

3/ 9(土)	船橋会防災体験ラリー	駅前広場ほか
3/10(日)	葎根会防災訓練	葎根公園
3/16(土)	ご近所フォーラム 2024	成城ホール
3/19(火)	区立中学校卒業式	船橋希望中学校
3/23(土)	歩こう会(みぢまち)	千歳烏山
3/24(日)	子どもぶんか村発表会	船橋希望中学校
3/25(月)	区立小学校卒業式	各小学校
3/26(火)	健康講座(体操)	千歳温水プール
4/ 6(土)	さくらまつり	葎根公園
//	花まつり	希望丘記念公園
4/8(月)	区立小学校入学式・始業式	各小学校
4/9(火)	区立中学校入学式・始業式	船橋希望中学校
5/19(日)	古着・古布回収	管内7カ所

令和5年度 日赤社資募集報告 1,088,400円

皆様からお預かりした社資は、能登半島地震等の被災地への医療、給水支援等に活かされています。ご協力ありがとうございました。



▲水道道路から見た西経堂団地
昭和32年に住宅都市整備公団が26棟660戸を建築。昭和36年撮影。(世田谷デジタルミュージアムから借用。編集委員会がAIアプリによりカラー化。)

亀井：私も西経堂団地ではよく遊びました。2DKというのでしょいか、部屋に入ると何でも手が届くところにある。うちは農家で雨戸を閉めなければならぬ。帰りが遅くなると戸を閉められ、土蔵に入れられて「反省しろ」と叱られる。団地は鍵ひとつで、子どもも鍵を作ってもらって首から下げているのがうらやましかった。大きくなったら絶対に鍵を持ってやる、と思って、家を改築した時に裏玄関を作って鍵をつけました(笑)。

西川：友だちと団地の方に勉強を教えてもらっていたことがあります。団地の間取りに驚きました。トイレとお風呂場が一緒にありコンパクトで、別世界だと感じました。

鈴木：西経堂団地へ配達に行きました。灯油の「斗缶(18L)」を両手に下げて、階段で4階まで運ぶのは大変でした。電話を受けて配達する時に、何号棟の何さん、というのを聞き間違えて、お小言を頂くこともありました。

司会：区画整理のエピソードはありますか。

野島：希望丘土地区画整理組合の認可は昭和40年です。父は区画整理組合の理事長をやっていました。区画整理の一番の動機は、廻澤にも道らしい道がなかったことです。今日いうしている高橋久一さん(注・元区画整理組合理事)が、300、400人も地権者を説得してくださいました。区画整理の課題は減歩率でした。広い土地を持つ人が少ない人をカバーしたと聞いています。こうして10m、8m、6mの道路を作り、いい街になったのです。区画整理をして失敗した話を私は聞いたことがありません。

司会：この地区は公園が多いですね。

野島：ほとんどの公園の中に、ソメイヨシノ、シダレザクラなど桜の木が植えられています。京都の植木屋・植藤さんで、花形和昌さんのお父さんとうちの父が桜を買い付けました。植え付けの作業がとても大変でした。千歳台の希望丘記念公園にある区画整理を記念した石碑には、高橋久一さんや私の名前も彫ってあります。

西川：姉が結婚して希望ヶ丘団地に住んでいました。よく遊びに行ったのですが、8階で見晴らしがとてもよく、戸建てと違って異次元だなと思いました。ただ、「こは丘ではないのになぜ「希望ヶ丘」という名前をつけたのかな?」と聞いていました。

野島：希望丘土地区画整理組合からつたのだと思いますよ。

高橋久一(来賓)：区画整理には反対もありました。それで「みんな希望をもつて進もう」という願いをこめて「希望丘土地区画整理組合」と名付けたのですよ。

多世代交流の地域「コミュニティ」を育てたい

鈴木：このまちは、大きな車が通らなくて静かなところがいいですね。

野島：廻澤は昭和46年に千歳台になり、地名が消えました。今はもう話してもいいと思いますが、祖師谷の方々が、廻澤という地名になるのはいやと言ったそうです。廻澤の人は一人も地名変更には反対しなかったそうです。かつて世田谷には、「澤」が付く地名が7つあり「七澤」と呼ばれていました。千歳烏山の「千歳」と当時流行りの「台」をくっつけて千歳台としたのです。今、廻澤の地名が残っているのは「廻澤稻荷神社」、バス停の「廻澤」、道路の「廻澤通り」、それから町会名の「千歳台廻澤町会」などです。



▲千歳船橋駅前にあつた柳の木
今は地域の方により3代目の柳が芽吹いています。昭和63年撮影。(世田谷Web写真館から借用。編集委員会がAIアプリによりカラー化。)

亀井：昔は交通の便がよくなくて小田急線があるだけでしたが、その後、バスが通り、区画整理により非常に便利になりました。世田谷区の船橋ということでも人々が集まり、発展しているのだと思います。

西川：船橋・千歳台地区が大きく発展し、若い人が増えたことは、次の世代につながるのでも望ましいことだと思います。若いファミリーが増え、3世代が住む街に発展しました。これからは地域「コミュニティ」づくりが大事ではないでしょうか。若者からシニアまで、多世代が交流する「コミュニティ」が育つといいですね。

司会：地元の方と、西経堂団地や希望ヶ丘団地等の集合住宅に住む方の生活には違いがあつたようです。団地にはそれまでの暮らしにはないコンパクトでモダンなライフスタイルがありました。

区画整理により上下水道などインフラが整備され、都市化し、高度経済成長の時期と重なっているいろいろな文化が入ってきたようです。地元の方と団地の方の違いがはつきりするといよりは、交流が進んで融合し、「コミュニティ」が発展していったと言えるのではないのでしょうか。こうして、今に繋がる船橋・千歳台の気風が醸成されていったのだと思います。これからも、この気風を大切にしていきたいと思っています。

結びのことは(船橋まちづくりセンター 長谷所長)

この地の変化を見続けてきた皆様の、楽しくて貴重なお話をありがとうございました。昔の良さを改めて感じることができました。ミニコミ紙は、記録を残すという点において非常に重要な役割を果たしていると思います。皆様のお話にもあつたように、昔ながらの船橋、廻澤、千歳台らしさの継承を大切にしつつ、子育て世代に住みやすさ、まちの良さを実感していただければと思います。地域のつながりを区としてもできる限りお手伝いしていきたいと思っています。

西暦	年号	地域の動き
1999	平成	
1996		11 成城警察署千歳台に移転
1990		8 フレール西経堂建て替え完成
1982		2 第一回船橋ふれあいまつり開催
1980		57 希望丘中学校開校
1974		55 千歳台小学校開校
1972		49 希望丘小学校開校
1966		47 希望ヶ丘団地入居開始
1965		41 環状八号線完成
1962		40 希望丘土地区画整理組合認可 青山学院大学院工学部廻澤キャンパス設置
1960		37 東京映画撮影所開所
1959		35 船橋中学校開校
1956		34 西経堂団地入居開始・船橋小学校開校
1947		31 東京ガス世田谷整庄所ガスタンク完成
1945	昭和	22 砧支所第二出張所開設・千歳中学校開校
		20 終戦